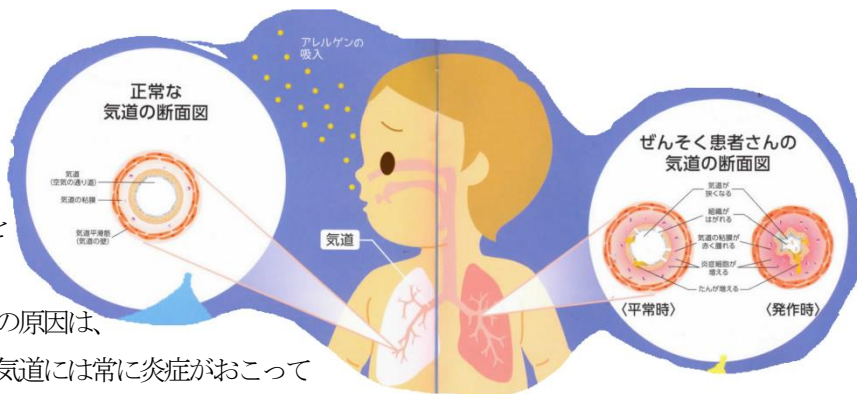




## 大塚先生コラム

暑かった夏も終わり、涼しくなってきました。  
日中の温度差が大きくなると、ゼイゼイする子が増えます。今回から3回に渡って、『ぜんそく』の話をしてしたいと思います。

『ぜんそく』の症状(咳・たん・喘鳴・呼吸困難)の原因は、「気道の炎症」といわれています。ぜんそくの人の気道には常に炎症がおこっていて、気道過敏性を持っています。そのため、かぜなどのウイルスやアレルゲン、汚染された空気(タバコ・線香の煙)、冷たい空気、運動などの刺激により、気道の壁の筋肉が収縮して空気の通路が狭くなり、息がしづらくなるために症状がおこります。



## 小児科外来より

8月に流行した病気はヘルパンギーナや手足口病といった夏風邪でした。暑い日が続いていましたが、9月に入ると寒暖差により体調を崩しやすいお子様も出てきます。体調の変化に注意してください。

病児保育室はっぴいの利用状況は下記の通りです  
(受入れ人数一日3人) 2019/08/01~2019/08/31

	0~1	2~3	4~6	学 童	合 計
能代市	13	7	4	1	25
山本郡	8	3	1	0	12
その他	0	0	0	0	0
合 計	21	10	5	1	37

## 医療安全対策室 より

子どもの事故は、周囲にいる大人たちが子どもの身の周りの環境に注意を払うことで、防げる事故があります。

また、子供の運動機能の発達とともに、起こりやすい事故も異なります。起こりやすい主な事故の種類は、①窒息・誤飲事故②水回り③やけど事故④転落・転倒事故⑤自動車・自転車関連事故⑥挟む・切る・その他の事故の6種類に分けられます。

暑い夏が終わり過ごしやすくなる9月は、レジャー・郊外活動は増えます。そこで、この時期に発生しやすい事故と注意のポイントをご紹介します。

副看護師長 芳賀



### ★遊具(すべり台・ジャングルジム・フランコ)などから転落★

【注意ポイント】

- 1,対象年齢を守って遊ばせましょう
- 2,大人が付き添い目を離さないように注意しましょう
- 3,服の紐などが首に絡まる恐れがあるので、服装・靴の持ち物に注意しましょう
- 4,遊具の正しい使い方を教えましょう
- 5,遊具の使い方を守らせ、ふざけたり、他の子どもを突き飛ばさないように教えましょう



### ★ペダルなし2輪遊具、キャラクター等で転倒★

【注意ポイント】

- 1,道路交通法上、道路では使用できません
- 2,必ずヘルメットを着用させ、正しい乗り方を教えましょう
- 3,2~3歳児ころから使用できる遊具は、転倒しないよう、目を離さないようにしましょう



独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)秋田病院

病児保育室はっぴい

〒016-0851 秋田県能代市緑町 5-22 3階ナースステーション隣り

T E L (代表) 0185-52-3271 (予約・問い合わせ) 090-8924-4253

アドレス [happy@akita.jcho.go.jp](mailto:happy@akita.jcho.go.jp) ※メールでの予約対応はいたしません

